

教科名：  
「高位平準動物看護学」

# 自律学習理解度確認課題

※ 10 問中 2 問にご解答ください。

氏名：

飼養管理学（エキゾ）

科名：飼養管理学（エキゾ）

問題1	エキゾチックアニマルとはなにか、説明してください。
解答1	
問題2	ウサギの飼養管理について、説明してください。
解答2	
問題3	ハムスターの飼養管理について、説明してください。
解答3	
問題4	フェレットの飼養管理について、説明してください。
解答4	
問題5	セキセイインコの飼養管理について、説明してください。
解答5	
問題6	エキゾチックアニマルの飼養管理に携わるときに必要なことについて、説明してください。
解答6	
問題7	エキゾチックアニマルと犬や猫など伴侶動物といわれる動物と人との関係の違いについて説明してください。
解答7	
問題8	ハムスターの種類別の特徴について説明してください。
解答8	
問題9	ウサギ、フェレットの排卵方法の特徴について説明してください。
解答9	
問題10	人とフェレットに共通する感染症は何でしょうか。
解答10	


教科名：  
「高位平準動物看護学」

## 自律学習理解度確認課題（模範解答）

氏名：

飼養管理学（エキゾ）

科名：飼養管理学（エキゾ）

<b>問題1</b>	<b>エキゾチックアニマルに分類される動物にはどんなものがありますか。</b>
<b>解答1</b>	家畜以外の動物で、犬猫以外にペットとして飼育されているウサギ、ハムスター、フェレット、インコをはじめとする小鳥、大型のインコ類からフクロウ、ハリスホークといった猛禽類、トカゲの仲間、ヘビ、ウーパールーパーなど。
<b>問題2</b>	<b>ウサギの飼養管理について、説明してください。</b>
<b>解答2</b>	飼育施設：大き目のケージ（広さが重要）、ケージの床はすのこ、金網、チップ、牧草。トイレ、給水ぼとる、ひっくりかえりにくい餌入れ。 日常管理：牧草やペレットは常に入れて。野菜、果物はペレットとは別の容器で。清掃は2回/日。運動は毎日。耳、口、爪、糞、尿の状態に注意 夜行性の集団生活する。
<b>問題3</b>	<b>ハムスターの飼養管理について、説明してください。</b>
<b>解答3</b>	飼育施設：ぶらケースや金属のケージ（高さ重視）。床材はチップ、牧草。巣箱、回し車、ひっくり返りにくい餌入れ、水入れ。トイレ。 日常の管理：ペレットを主に種類を多く。清掃は2回/月。口、糞の状態にちゅうい。脱走に注意。
<b>問題4</b>	<b>フェレットの飼養管理について、説明してください。</b>
<b>解答4</b>	飼育施設：金属のケージ（高さ、広さを十分に）、床材は特に必要ない。ハンモック。給水ボトル・ひっくりかえりにくい餌入れ。トイレ。 日常の管理：高たんぱく・高脂肪の餌。清掃は2回/日。歯、爪、糞の状態に注意。脱走注意。ジステンパー・フィラリア、インフルエンザに注意
<b>問題5</b>	<b>セキセイインコの飼養管理について、説明してください。</b>
<b>解答5</b>	飼育施設：金属のケージ（高さ、広さを十分に）、段違いの止まり木、床は金網、エサ入れ・水入れ・青菜さし。 日常の管理：穀物の混合餌・ペレット、青菜・ポレー粉、清掃は1回/日、体勢・羽毛・爪・嘴の状態に注意、脱出注意。
<b>問題6</b>	<b>エキゾチックアニマルの飼養管理に携わるときに必要なことについて、説明してください。</b>
<b>解答6</b>	エキゾチックアニマルは、ペットの犬や猫と異なり人と共に生活し始めてから年月が長くないので、健康状態や病気の様子、など不明なことも多い。そのため細かい観察がより必要と思われる。動物の飼養管理に携わる場合、飼養管理は継続的なチームで行うことができる、自分ひとりで行うのではなく、何人かが交代で長く続けてゆくということ。そのためには動物にも人にも安全が優先される。安全を確保するためにはまず自己管理が必要になる。自分の体調管理をしっかりと行い、万全の態勢で動物の飼育に臨むことが必要。自分が病気のキャリアーになって自分のペットから飼育動物に病気を伝搬させることもあるので自宅のペットも含めて健康管理をする。飼育施設、飼料、飼育環境の保守点検を確実にし、快適さを確保する。その上で必要に応じて生活を豊かにするためのエンリッチメントを施す。動物をよく観察し、飼育記録などを残す。
<b>問題7</b>	<b>エキゾチックアニマルと犬や猫など伴侶動物といわれる動物の飼育が増えたことによる飼育者の姿勢の違いについて説明してください。</b>
<b>解答7</b>	人との生活が長く、コンパニオンアニマルと言われる動物のほかに、大型のインコ、猛禽類、爬虫類、両生類の飼育方法や生態を学び、犬、猫との違いを比較しながらその種本来の習性に則した飼育・看護の方法に活かすことを目的とした学習が必要。飼育動物の種類多様化に伴い、小動物臨床現場で遭遇する動物種も増加傾向にあり、それぞれの看護対象を正しく理解し扱える飼育員及び動物看護師の需要はたかまっていることを知る。飼育する動物のことを良く知る必要がある。動物種ごとに食性や生活様式・生態を知っているのか、どのような体の仕組み・特徴を持っているのか、健康に飼育するためにはどのようなものが必要で、きを付けねばならないかを理解しておく。
<b>問題8</b>	<b>ハムスターの種類別の特徴について説明してください。</b>
<b>解答8</b>	ゴールデンハムスター：シリアなど原産国。大型、人に慣れやすい。体重85～130、妊娠期間15～17日。体長約18センチ、♀約19cm チャイニーズハムスター：中国北西部、モンゴル原産。尾が長く細い。慣れやすく穏やか。性周期4日、妊娠期間20～25日、体重30～40g ジャンガリアンハムスター：シベリア南西部。丸っこい体系、温厚で慣れやすい。体重30～45g、妊娠期間18～25日。体長7～12cm キャンベルハムスター：バイカル湖東部、モンゴルなど。臆病で警戒心が強い。体重30～45g、体長約7～12cm。性周期4～5日。 ロポロフスキーハムスター：ロシアなど。臆病でなつきにくい、最小。体重15～40g、体長7～10cm、性周期4～6日。
<b>問題9</b>	<b>ウサギ、フェレットの排卵方法の特徴について説明してください。</b>
<b>解答9</b>	交尾排卵。交尾が刺激となって垂日蘭がおこるもので、交尾を確認した場合にはほとんどが妊娠する。
<b>問題10</b>	<b>フェレットと人、フェレットと犬に共通する感染症は何でしょうか。</b>
<b>解答10</b>	犬のジステンパー、人のインフルエンザに感受性がある。